

Global Labour Tax Summit

Tax is everyone's business

17-18 September 2015, Geneva, Switzerland



プログラム

(9月7日現在)

国際労働機関(ILO)、会議室V、スイス・ジュネーブ

9月16日(水曜日)

19:00 – 23:00

ゲストスピーカーを交えた夕食会: 「税金を魅力的にする」

- ジョージ・ターナー、ジャーナリスト、Finance Uncovered のディレクター
- サイモン・パウワーズ、ガーディアン紙ビジネス担当記者

会場: レストラン「Nomades」 - 住所: 18 rue des Grottes, Geneva

9月17日(木曜日)

8:00 – 8:30

登録

8:30 – 9:00

歓迎と開会の挨拶

- ロサ・パヴァネリ、国際公務労連(PSI)書記長
- フバート・シリンガー、FESジュネーブ事務所長
- 会議招集者: ダニエル・ベルトーサ、PSI 政策・統治担当ディレクター

9:00 – 10:45

第1セッション: 税はみんなの問題

全般的福祉に対する公的資金の役割、現行制度が労働者に及ぼす影響、開発、公共サービスと民営化、環境および不平等。講演者は次の通り

- ジョエル・オディジー、ITUC アフリカ地域組織の人権と労働権担当コーディネーター - 「税と開発」
- スーザン・ルイツ・ロドリゲ、オックスファム・インターナショナル、オックスファム・スペインによる公正な財政を求めるキャンペーンの代表 - 「格差是正: 税と不平等」
- カリム・バングウラ、シンデックスの公認会計士、税と労働者の権利 - 製造業分野での事例研究
- ロサ・パヴァネリ、国際公務労連書記長 - 「公共サービスの財源」
- 司会者: サイモン・パウワーズ、ガーディアン紙の経済記者

10:45 – 11:15

休憩

11:15 – 12:45

第2セッション: 税と企業のパワー

企業による税逃れはいくらにのぼるか、どのような方法で税を逃れるのか、彼らに手を貸しているのはだれか、どのようにして税逃れを止めさせられるか、なぜそれについての情報があまり入ってこないのか？

- ジョン・クリステンセン、税の公正ネットワークの事務局長 - 「いくら、誰が、どのように？」
- ジェyson・ウォード、国際運輸労連のグローバル戦略担当上級職員 - 組合の視点から見た企業の事例研究：シェブロン社とオーストラリア上院による税に関する査問
- クリシェン・メサ、プライスウォーターハウス・コーパースの元共同経営者 - 「多国籍企業が引き起こす問題と、彼らのサービス提供者およびロビイスト」
- 司会者：ナディア・サルソン、欧州公務労連の税と行政の政策オフィサー

12:45 – 14:15

昼食

14:15 – 15:45

第3セッション: 誰がルールを作るのか、誰が彼らに影響を及ぼすのか、そして誰が得をするのか？

OECD、私たちの政府、実業界、メディア、右翼的シンクタンク、国連、持続可能な開発目標 (SDG's) およびグローバル金融機関

- ラファエル・ルツ、OECDの税政策・管理センターのBEPSプロジェクトの代表 - OECD - BEPS (税源浸蝕と利益移転): 「私たちは十分に対応しているか？」
- マイケル・キーン、IMF - 「波及効果と金融取引税の見通し」
- サイモン・パウワーズ、ガーディアン紙ビジネス担当記者 - 「税討論における既得権者」
- 司会者：ジョン・クリステンセン、税の公正ネットワークの執行ディレクター

15:45 – 16:15

休憩

16:15 – 17:45

第4セッション: 組合と対応の選択肢—優先課題を特定する

代替政策の選択肢を明らかにする、成功談及び労働組合の優先課題

- マニエル F. モンテス、国際企業税制改革に関する独立委員会 (ICRICT) - 「代替策は何か？」
- クリシェン・メサ、プライスウォーターハウス・コーパースの元共同経営者 - 「私たちは BEPS の成果への働きかけを行いながら、なおかつ自分たちの税の運命を自ら切り開くことができるだろうか？」
- ヤン・ヴィレム・グードリアン、欧州公務労連書記長、- 「欧州における機会」
- アデマール S. ミネイロ、ブラジル CUT - 「開発との関連の中での国の解決策」
- 司会者: エリカ・デイル・スー、ICRICT (国際企業税制改革に関する独立委員会) コンサルタント

17:45 – 18:00

まとめ・閉会

18:00 – 19:00

飲み物と軽食

19:00 – 20:30

映画上映: 「THE PRICE WE PAY」 (私たちが支払う代償) - ハロルド・クルックス監督

場所: 会議室 V、ジュネーブ

9月18日（金曜日）

9:00 - 9:20 2日目開始の挨拶と前日の要約

9:20 - 11:00 第5セッション: 組合と対応の選択肢一力を構築する

税を論じる、選択肢に注目する、私たちの仲間は誰で、何を行っているのか、自分たちの話をする、変化への期待を抱く

- ジョージ・ターナー、Finance Uncovered のディレクター - 「不正の広がり暴露する」
- カール・ライノーネン、SEIU のグローバル組織化現地担当責任者 - 「反マクドナルド・キャンペーン—組合のキャンペーンと戦略」
- アドリアーノ・カンポリーナ、アクションエイドの CEO - 「市民社会の行動」
- 司会者：ダニエル・バルトーサ、PSI 政策・統治担当ディレクター

11:00 - 11:30 休憩

11:30 - 13:00 第6セッション: 機会を見つける

討論はどこに向かうのか、私たちはどのように政策に影響を及ぼすことができるか、なぜ労働者は重要なのか？

- ルディ・ドゥリュエー-ITUC 副会長およびベルギー FGTB 会長 - 「G20 および OECD における労働者にとっての機会」
- デレヘ・アエマユエフ、税の公平を求めるグローバル連合の議長 - 「開発途上世界における機会」
- エヴァ・ジョリ、欧州議会議員 - 「ヨーロッパにとっての選択肢」(後日確定)
- エリカ・デイル・スュー、ICRICT (国際企業課税改革に関する独立委員会) コンサルタント - 「グローバルな機会」
- 進行役：トウヴ・ライディング、税の公平を求めるグローバル連合 (GATJ) の政策・キャンペーングループのコーディネーター、およびユーロダッド (債務と開発に関するヨーロッパ・ネットワーク) の税問題担当コーディネーター

13:00 - 14:30 昼食

14:30 - 16:00 第7セッション: 労働側の戦略を築く

次は何か？

- 活動の調整
- 戦略と戦術
- 能力構築
- 行動に対するコミットメント

進行役：ダニエル・バルトーサ、PSI 政策・統治担当ディレクター

16:00 - 16:15 閉会